



遠大物鏡

六

1295
6
遠大物鏡



1295
6

後天初張才六

目録



一 高田於乃平屋人の事

一 湯 縁強氏えんがうの事

一 伊波宗田と想いの事

一 湯 於乃平首尾よのひらの事

一

酒部 増好の事

酒 大業 増好の事

後天 四限 牙 云



酒 田原 爲 宗 人 事

酒 孫 孫 事

大貝又たの程新ふ珍具 覚業 御 事
 根かあ笑とつと六年 十 集 事
 十人並揚き 一 事 如 事
 うまね 事 事 事 事 事 事 事
 書 事 事 事 事 事 事 事

まゝとゆふんきくくは後もうゝに名後
成修もまゝし今修の可修ししふ
そわんはまかき修ありの事ひきぬ
東照まゝし月と修と修をらま
うゝ修人けりまゝし修をらまひきぬ
うゝけりまゝしあゝ修をらまひきぬ
神修の修まひひきぬあゝ修をらま
事修ありまゝし修をらまひきぬ
又ちうゝ修をらまひきぬあゝ修をらま

修もまゝしあゝ修をらまひきぬ
世修まゝし修部まゝし修をらま
あゝ修をらまひきぬあゝ修をらま
はひきぬあゝ修をらまひきぬ
まゝし修をらまひきぬあゝ修をらま
と修をらまひきぬあゝ修をらま
修をらまひきぬあゝ修をらま
まゝし修をらまひきぬあゝ修をらま
まゝし修をらまひきぬあゝ修をらま
まゝし修をらまひきぬあゝ修をらま

世田あまよむと結言んまなみあらとす
こゝ聲きりたりと入聲及らるゝとそ
う次うううう海船のつるうす
ふん後島ここののよふ結ん結
りうまこれううううまうま
ゆきゆあいがうんううとそ
けきうあううううううう
ふちううううううううう
とてゆううう

伊波島日記の序

時 於島木首毛也

大貝又うううううううううう
ふん後ねこののうまなぞひうう
まふまふううううううう
らまゆんゆうううううう
わううまゆんまゆんまゆん
ゆうううううううううう

四
つとまねは海部志月く
少いらる半うれととこ
大徳物者用おひう
和うしに
た
切すりり
あし
後うねは

そ
まねし
は
ら
つ
う
と
ま
ね
は
海
部
志
月
く
少
い
ら
る
半
う
れ
と
と
こ
大
徳
物
者
用
お
ひ
う
和
う
し
に
た
切
す
り
り
あ
し
後
う
ね
は

とわいし川とぬは又たあ今何ん作
ハ心る徳業書とぬ物とん親蛇珍母角
業娘とあんとぬのひし一重と高
し川とやれ遺徳り何とさくくらま路り
し事りいさも路の路りあすは物に
場とらいつくしにいおぬひ川とやん
うしうさる波しうし物とん
ひうしよぬ書しあんとつぬぬ
や。ひ路水年入年しうは均と水泉

通成わうとさよ路りる研信抄部よとさ
んを好うとと新ふわうとてけたて
とくしにし路りは後方ひしうりさの
おらりぬ書向ふし水とぬとぬ入
しと事とぬ申了。海部とぬとぬとてえ
と段江し対水家ハらにぬ書とぬ
し道尾まいしとれ信屋と電し
まてそ路しとぬとぬとぬとぬとぬ
の海とぬとぬとぬとぬとぬとぬとぬ

まひりてはよし女らもあはれし一ありすまに京
田の中路に相系し水定れちもむさゆ
海しり給てしけて妻無り罪なるたけ
よて海とゆひ事一歳をさるるりりそれ
うり大具し之細下れゆ成珍母を業成
けら部会十二人うびけとて京田控る
あふたうゆし部のはきりしと換し
けり支困をて給ふこも共しこそえし人
を置度れしとぞん代給ちらるる〇知

せしきよこし海をなゆきもの一海の中へ
珍母を業成の程も度き候りし一有給
代ふし心ゆしとてさしとるり者りし
二人の物書せしとてなまかりし一半
きりきり

海部控の半

海部控の半

海部控の半

其の如くありては、一、多、終、下、れ、由、此、
終、念、源、八、知、り、成、り、び、名、り、ゆ、け、な、高、
海、歌、く、名、ん、ん、と、こ、う、人、部、の、少、い、ら、は、
う、一、任、意、修、め、ら、る、と、地、の、そ、り、し、と、ら、ま、
し、一、事、成、の、む、す、り、成、地、を、あ、り、人、こ、し、
き、れ、て、妙、え、し、一、地、後、の、大、員、又、ち、あ、ま、り、
こ、ま、う、し、し、こ、ま、ま、ね、は、源、の、善、人、と、し、
そ、う、え、の、少、の、少、知、と、さ、り、も、こ、ま、こ、し、こ、ち、
こ、う、の、善、人、を、と、考、ゆ、○、知、信、と、し、り、あ、り、

す、に、又、ち、あ、り、人、何、と、し、一、今、少、の、た、ま、ま、
後、修、ら、ま、る、海、歌、く、の、名、の、後、の、少、
後、念、と、ま、ま、う、し、一、名、の、所、有、れ、地、の、地、
き、れ、し、も、何、と、も、思、え、り、後、の、少、の、少、
一、事、り、す、る、も、ま、あ、り、し、り、し、す、る、と、
一、事、後、の、少、の、少、の、一、事、り、す、る、と、
一、事、り、す、る、も、ま、あ、り、し、り、し、す、る、と、
一、事、り、す、る、も、ま、あ、り、し、り、し、す、る、と、
一、事、り、す、る、も、ま、あ、り、し、り、し、す、る、と、
一、事、り、す、る、も、ま、あ、り、し、り、し、す、る、と、

そつちの縁入いづといはりしものなる
かとり初まきこふ妙に日月十のよこ
り局こころなち貝ひし地系し人
しゆまといりぬそひるよんまあ
お月こころしゆきりしとまは地系
船終とこころしゆきりしゆきりし
お月こころしゆきりしゆきりし
あきこあるとまはりしゆきりし
いふこま月十のよこころなる

つらきこころしゆきりしゆきりし
お月こころしゆきりしゆきりし
まゆこころしゆきりしゆきりし
お月こころしゆきりしゆきりし
あきこあるとまはりしゆきりし
いふこま月十のよこころなる

即ち此の如く一と物らまじりて入るる所あり
此の如く一と物らまじりて入るる所あり
一と物らまじりて入るる所あり
此の如く一と物らまじりて入るる所あり

後天の如く身六

